

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

討議年月日:令和 4年 4月 8日

公表:令和 5年 4月 27日

事業所名: KIZUNA武蔵野

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9	1	0	・道具は常に整理整頓し、十分なスペースをとるように配慮している。	なし
	2	職員の配置数は適切であるか	9	1	0	・子どもの状況に応じて、事故のない様に職員の配置をしている。	なし
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2	0	・必要な場所には絵カード等を使用しわかりやすいように工夫している。また、余計なものは置かず何が何処にあるのか見渡してわかるようにしている。	なし
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10	0	0	・目標については個別支援計画書の策定会議を実施し、指導員の意見も反映している。また一日の始まりと終わりに、現場改善点やヒヤリハット、当日の来所児童全員の振り返りを全職員で行っている。	・振り返りについては、その日の様子(出来事)を振り返るのではなく、目標に対してどうだったのか、アプローチに対しての児童の様子や、それを踏まえ次回はどんな風にアプローチしていくかなど職員全体で意見を出し合える振り返りが出来るよう努めている。また、職員間で日頃から子どもの様子を伝え合うことで、意見を出しやすい環境作りに取り組んでいる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	0	・自己評価アンケートや定期的なヒアリングの際に頂いたご意見やご要望を踏まえながら、可能な限りニーズに沿ったサービス提供ができるよう職員間で検討し、業務改善に繋げている。	・保護者様からのご意見を反映し、利用についての出欠表を紙面からオンラインでの回収に変更した。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1	0	なし	・前回の自己評価結果はホームページにて公表済み。今般の自己評価結果も4月中に公表する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	3	0	なし	・現在に於いては、第三者評価は未実施であるが、今後実施する予定としている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	3	0	・職員全員に研修情報を周知し、幅広く研修に参加できるように調整している。	・研修を受けた職員が、事業所内で他職員に対し、内容の共有を行っている。研修で学んだことをより療育に活かせるようにして行く。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

討議年月日:令和 4年 4月 8日

公表:令和 5年 4月 27日

事業所名: KIZUNA武蔵野

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	1	0	・主観的にならないように、支援計画は児発管と指導員全員で検討し、作成している。	・面談に加え、保護者様にヒアリングシートを記入していただき、子どもと保護者のニーズを把握している。 ・心理士による、アセスメントも必要に応じ作成している。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1	0	なし	・今後の標準化を目指し、現在心理士等の専門職員を中心に試験的に導入し、検討している。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0	0	なし	・本人支援、家族支援が中心となっており、移行支援や地域支援はまだ行えていないので、今後の課題となっている。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	0	・支援計画の目標をサービス提供記録票の中に記述する事で、常に計画を意識しながら支援できるようにしている。	なし
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1	0	・専門的な運動はリーダーが主としてプログラムを作っている。創作はチームで立案している。また、ニーズに応じ、プログラムを柔軟に対応できるようにしている。	・職員間でのミーティングの際に、次回のプログラムについての相談を行っている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	0	・運動はクラス毎、月毎にプログラムを変えるだけでなく、特性に応じ、またその日の子どもの様子に応じてフレキシブルに変えている。リーダーも日ごとに担当を交代し、固定化しないようにしている。	なし
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	10	0	0	・個別活動のほか、ルール遊びやごっこ遊びなど皆で関わりがもてる集団活動のプログラムも提供している。	なし
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2	0	・支援開始前には当日来所児童全員のの前回活動時の様子や配慮事項とプログラムの共有、指導員の配置(役割分担)の確認等、念入りな打ち合わせを毎回行っている。	なし
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10	0	0	・支援終了後にはひとりひとりの子どもの様子を振り返り、書面に残す共に次回支援に繋がるような課題や活動内容、提示法等の検討を行っている。	なし
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1	0	・書面にて記録を取ると共にデータとしても残し、次回以降の支援に繋げている。	なし
20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0	0	・指導員の記録している振り返りシートとサービス提供記録に必ず目を通し、子どもの活動時の様子をモニタリングし、課題の見直しに繋げている。	なし	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

討議年月日:令和 4年 4月 8日

公表:令和 5年 4月 27日

事業所名: KIZUNA武蔵野

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	0	・児発管と場合に応じて指導員が出席している。	なし
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	3	0	・ケースに応じて複数の関係機関と連携している。	なし
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	/	なし	・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもの通所が今のところない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	/	なし	・医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子どもの通所が今のところない。
	25 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	4	0	なし	・現状行っていないが要望に応じて連携を図っていく。
	26 小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	3	1	なし	・現状行っていないが要望に応じて連携を図っていく。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	2	0	・専門機関の主催する研修や見学会に幅広い職員が参加できるよう調整し、療育スキルや知識の向上に繋げている。	なし
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	1	4	なし	・通所している児童は保育所等に通っているお子様が多いため、保育園や幼稚園で障がいのない子どもと活動してからの来所なので、今のところそのような機会を設けていない。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	4	1	・協議会や地域連絡会には、機会があれば主に児発管が積極的に参加している。	なし
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10	0	0	・コロナ対策により、以前に比べ十分なフィードバックが確保できない面もあるが、感染対策を講じながら可能な限り共通理解が持てるよう、専門職員による電話支援を取り入れる等の工夫をしている。	・フィードバック時に日頃の様子を伺ったり、必要な場合は随時面談の時間を設けるようにしている。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	2	1	・必要な保護者には、フィードバックや面談を通じて子どもに対する対応方法を提案している。	・研修で職員のスキルアップと知識の向上を図り、将来的に実施できるようにして行く。また、心理師や言語聴覚士など専門職員の意見をお伝えしたり、面談を設定している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

討議年月日:令和 4年 4月 8日

公表:令和 5年 4月 27日

事業所名: KIZUNA武蔵野

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への 説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	0	・契約書と重要事項説明書の内容については、契約時に直接説明を行い、その場で疑問点などがあれば解消できるようにしている。	・運営規定については、口頭での説明は行っておらず、親御様が自由に閲覧できるファイルを用いて周知している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0	0	・児童発達支援の提供すべき支援のねらいに基づき、6ヶ月以内に1回作成し保護者から同意を得ている。	なし
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	0	・面談以外でも、ご相談があれば適宜丁寧な対応を心掛けている。必要により改めて時間を設けている。	なし
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	7	3	なし	・現状はコロナ禍である事と保護者会等へのご要望がない為、行ってはしないが、他の親御様との相談の機会を設けたい旨のご相談があった際には、個別に機会を設定している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	・相談や申し入れがあった際には適宜、適切かつ迅速に対応している。	なし
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	4	1	・会報等は発行していないが、長期休暇に行う特別プログラムを企画し、ご案内の際には発行物や掲示物を作成し、配布・周知している。新入社員紹介や連絡事項は事業所内の分かりやすい場所に掲示している。	・必要に応じて、今後ホームページ上でも発信して行く。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	1	0	・個人情報と思われる資料、個人名の入った書類等はカギ付き書庫の中に保管し、処分する時はシュレッダーしている。	・PC等からの個人情報へのアクセスについては、まだ不十分な面がある為、今後必要に応じ検討して行く。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	0	・口頭のみならず、書面で伝える等、先方の事情を考慮し対応している。	なし
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	3	なし	・今のところ特別な行事は行っておらず、またコロナ禍の現状がある為、地域交流については現段階で検討は行っていない。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別紙3

討議年月日:令和 4年 4月 8日

公表:令和 5年 4月 27日

事業所名: KIZUNA武蔵野

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10	0	0	・緊急時対応マニュアル及び感染症対応マニュアルは、保護者閲覧用ファイルにて周知できるようにしている。	・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等全体の内容を見直し、状況や必要に応じて修正や整備を行っていく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	0	・昨年度は9月に実施した。次回は9月に実施予定。	・今後も年に2回予定し、定期的に行っていく。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	3	0	・救急を要する疾患がある児童のファイルにシールを貼付し、わかりやすくすると共に、てんかん等配慮が必要なお子様はミーティング時に毎時確認している。	なし
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/	/	/	・アレルギーがあるお子様については個人ファイルにシールを貼っている他、毎時とる記録シートにも反映している。	・現在、食事提供の機会はなく、また利用中のお子様で医師の指示書はないが、今後あれば指示に基づき対応していく。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	1	0	・事例発生時にはその都度記録し、全職員で共有すると共に、今後の対応策を話し合い実践している。	・職員間での振り返りミーティング後に、事例の有無を確認している。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0	・東京都の権利擁護、虐待防止研修に参加したスタッフが周知、共有するために事業所内で研修を行った。 ・虐待防止に関わるセルフチェックを全職員に対して定期的実施している。	・今期より法人全体で虐待防止委員会を実施し、方針、マニュアル、研修の整備を進めている。今後もより徹底、周知し、ケース検討などを行い、年2回の虐待防止に関わる全職員のセルフチェック及び事業所内での虐待防止研修を行っていく。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	2	0	なし	・今期より身体拘束適正化委員会を法人単位で実施した。事業所内に拘束を行う方針がない為、未対応であるが、自傷他害のお子さまがいた場合の対応策や身体拘束については職員間で検討している。対象者がいる場合には、個別支援計画書に記載し、内容を契約時にお伝えする。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。